産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] アンチトロンビン活性低下妊婦における周産期予後に関する疫学調査

[研究機関] 北海道大学病院産科・周産母子センター

[研究責任者] 森川 守（産科・周産母子センター 講師・病棟医長）

[研究の目的] 妊娠期間中にアンチトロンビン(AT)活性低下を伴った妊婦の発症リスク因子を明らかにし、今後の周産期管理（産科医療）に役立てるため。

[研究の方法]

●対象となる方

北海道大学病院産科・周産母子センターならびに北海道内の他の医療機関（総合周産期母子センターないし地方周産期母子センターである産科 2 次・3 次施設の 10-20 機関が本研究参加予定）において 2012 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日までに分娩に至った妊婦さんのうち、何らかの理由により、AT 活性が測定され、妊娠期間中ないし産後に AT 活性が 65%以下を一度でも認めた妊婦

●利用するカルテ情報

①母体所見：母体産科合併症（妊娠高血圧症候群の有無、常位胎盤早期剥離の有無、胎児発育不全の有無、HELLP 症候群や子癇の有無など）、内科学的合併症（高血圧、糖尿病、甲状腺機能異常など）既往の有無、母体年齢、既往分娩の有無、分娩週数、分娩様式（帝王切開術施行の有無）、母体身長、妊娠前母体体重、分娩前母体体重、など

②胎児・新生児所見：胎児機能不全の有無、出生児体重、新生児仮死の有無、新生児奇形、死亡時期

③血液検査結果（血算、生化学、凝固系など）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局)

FAX 011-706-6932